



2021年4月28日

各 位

会 社 名 ヤマトホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長尾 裕
 (コード番号：9064 東証第1部)
 問合せ先 常務執行役員 財務・IR統括担当 檜本 敦司
 (TEL. 03-3541-4141)

2021年3月期通期連結累計期間の業績予想と実績値との差異
 および配当予想の修正に関するお知らせ

2021年1月29日に公表した2021年3月期通期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。併せて、2021年3月期通期の期末配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結累計期間の業績予想と実績値との差異

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,680,000	82,000	82,000	43,000	114円93銭
実績値 (B)	1,695,867	92,121	94,019	56,700	151円55銭
増減額 (B-A)	15,867	10,121	12,019	13,700	—
増減率 %	0.9%	12.3%	14.7%	31.9%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	1,630,146	44,701	40,625	22,324	56円78銭

2. 配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		19円00銭	35円00銭
今回修正予想		30円00銭	46円00銭
当期実績	16円00銭		
前期実績 (2020年3月期)	15円00銭	26円00銭 (普通配当16円00銭) (記念配当10円00銭)	41円00銭 (普通配当31円00銭) (記念配当10円00銭)

3. 業績予想値と実績値との差異および配当予想修正の理由

(1) 業績予想と実績値の差異の理由

営業収益については、成長が加速する EC 領域に対応した結果、荷物の取扱数量が想定を上回ったことなどから、前回発表予想を 158 億円上回りました。

営業費用については、荷物の取扱数量が増加する中、データ分析に基づく経営資源の最適配置等を推進した結果、営業収益の伸び以下となりました。

その結果、営業利益については前回発表予想を 101 億円、経常利益については前回発表予想を 120 億円、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表予想を 137 億円上回りました。

(2) 配当予想修正の理由

当社は、今後の成長性（営業収益）と収益性（営業利益率）および健全性（キャッシュ創出状況、保有現金や自己資本比率水準）、投資の進捗状況、資本効率などを踏まえ、安定配当（株主資本配当率を意識）を実施していくことを基本方針としており、連結配当性向については 30%以上を目標とすることを方針としております。

2021 年 3 月期の配当予想については、2021 年 3 月期通期連結累計期間の実績値が前回発表予想を上回ったことを踏まえ、期末配当金（普通配当）の予想を前回予想から 11 円増額の 30 円に修正いたします。これにより、年間配当金は、中間配当金 16 円と合わせて 46 円となる予定です。

以 上